

## 【Q 事故発生時の事実把握手法】

**Q 事故発生時における事実関係の正確な把握手法の留意点について教えてください。**

A

事故が発生したときは、施設として速やかに事故に至った経緯及び態様を調査し、正確に把握するとともに、その状況を記録として残すことが重要です。

記録が必要な項目としては、

被害にあった利用者名

発生日時

発生場所

経緯

現場の状況

被害の内容と程度

応急措置の内容及び処置者名（救急車要請・時間）

利用者の様態の推移

医師の診断内容・指示事項

その後の経過

などが考えられます。

施設として事故時の記録のための書式を整えておくことが必要でしょう。

また、このような記録を作成する際には、誰が、いつ記録したかを明確にするとともに、第三者からの聴き取りを伴う場合は、誰が、いつ、誰から聴取した内容かが解かるような形で記録に残すのが肝要と思われれます。

日頃から利用者の身体状況、生活状態、介護記録等介護日誌に事実を正確に記録しておくとともに、事故防止検討委員会の記録（原因分析、改善方針など）を残しておくことが重要です。